

第13期レイカディア大学地域貢献活動アンケート調査のまとめ

第13期サポートの会
地域活動部会アンケート委員会

1. はじめに

レイカディア大学は、滋賀県に在住する社会参加意欲の高いシニアが、明るい長寿社会の創造を目指し、仲間と語らう中で、新しい知識・教養・技術を身につけ、地域の担い手として活躍できるよう支援している場です。

この調査は、レイカディア大学と協働して学生の支援を行うサポートの会の地域活動部会が、草津キャンパスの卒業生に対し毎年アンケート調査を実施しているもので、今年が9回目となります。調査の目的は、地域で活躍している卒業生の地域貢献活動実態把握と、レイカディア大学の存在意義を明らかにするために実施しています。

今期より、趣味の活動や生涯学習、今後生かしてみたいスキルについても別シートにて記入して頂いています。アンケート調査結果で記載しているように、前年より卒業生の地域貢献活動時間及び一人当たりの活動時間も増加しており、卒業生の地域活動が継続されている実態を確認することができ、本調査は大変意義があったものと考えます。

なお、あえて問題点として挙げるなら、卒業生の高齢化・連絡手段の多様化（LINE活用等）により、メールでのデータの受け渡しに一部支障があったことは否めない。

2. 調査対象

(1) 対象者数（令和6年4月現在の対象人数*）

第41期卒業生 [令和 3年3月卒業]	97名
第42期卒業生 [令和 4年3月卒業]	105名
第43期卒業生 [令和 5年9月卒業]	120名
対象人員計	322名

*集計は各期・各学科の担当者から報告を受けた人数を基に行っています。

推移（サポートの会の期で表示）

10期(2020年)	11期(2021年)	12期(2022年)	<u>13期(2023年)</u>
332名	334名	325名	<u>322名</u>

(2) 調査対象期間

2023年4月1日～2024年3月31日までの1年間です。

*コロナ感染症の5類移行並びに卒業月が9月に戻ったことから従来の調査期間にしています。

3. アンケート調査結果

(1) 全般について 【表-1】《グラフ1》

- ・ 今期の対象者数は前期比 3 人減、活動報告者は 241 人、前年より 13 人増で 106%でした。活動者割合は約 80%で、前期より 5%の減ながら同水準を維持している。
- ・ 年間総活動時間は 32,469 時間、前期比 131%まで大きく増加しており、コロナ5類移行により地域活動が活発化して来たものと思われる。
- ・ 活動報告者 1 人当たりの活動時間は 135 時間、前期比 123% (+26 時間) の増加となった。

全体としては、コロナ禍前『活動者の割合 10 期 : 92%⇒13 期 : 80.6%』の値には及んでいないものの、一人当たりの活動時間は、卒業生の努力により従来値に回復している。

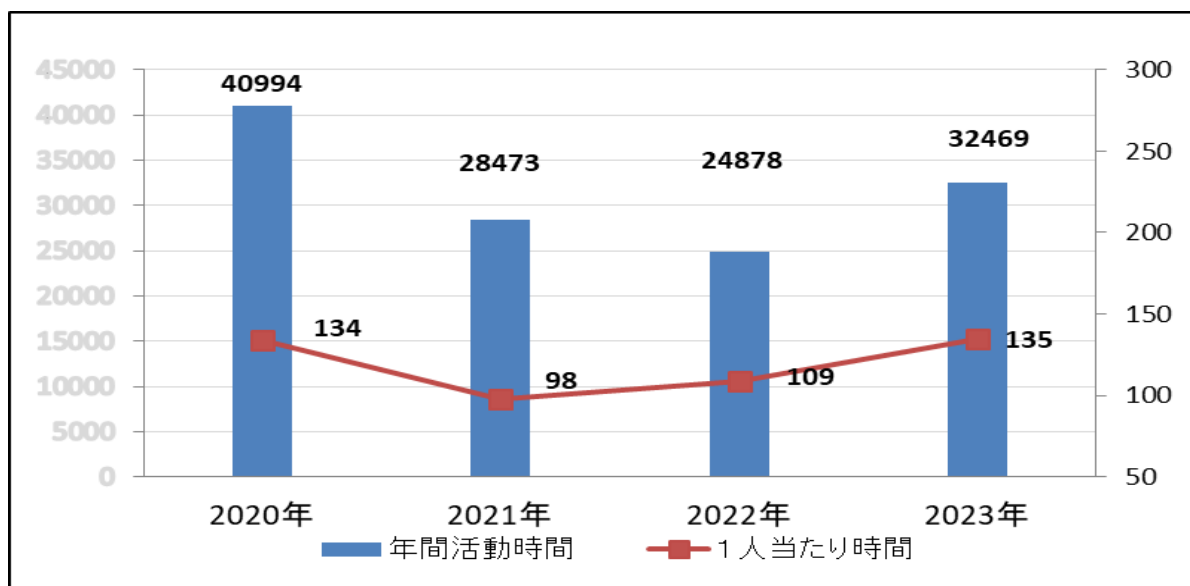
【表-1】 年間活動時間

	第13期(2023年)				第12期実績(2022年)	第12期との比較	
	41期	42期	43期	合計		前期比	前期差
対象者数(人)	97	105	120	322	325	99%	-3
活動報告者(人)a	68	74	99	241	228	106%	13
未活動報告者(人)b	21	18	19	58	37	157%	21
連絡なし(人)c	8	13	2	23	60	38%	-37
活動者割合 a/a+b	76%	80%	84%	80.6%	86.0%	93.7%	-5.4%
年間活動時間 d	10,365	9,583	12,521	32,469	24,878	131%	7,591
1人当たりの年間活動時間 d/a	152	130	126	135	109	123%	26

※参考 第10期(2020年)実績 年間活動時間: 40,994 時間

活動報告者: 307 人 1人当たりの年間活動時間: 134 時間 活動者割合: 92%

《グラフ1》 年間活動時間の推移



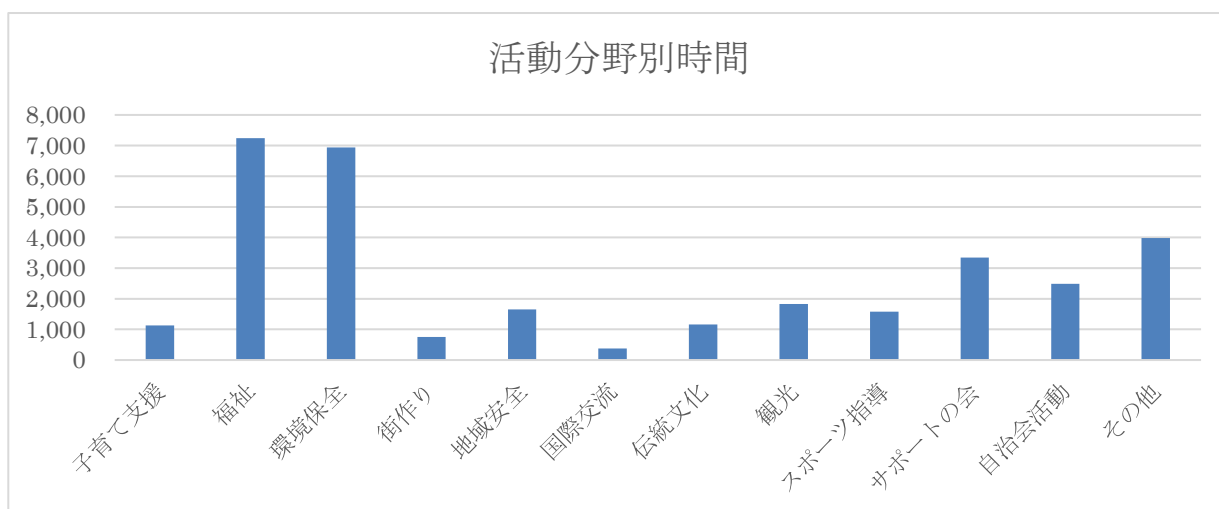
(2) 活動分野別集計 【表-2】 《グラフ2》

- ・例年と同様に、アンケートの選択項目の12の活動分野に分けて集計しました。
- ・全体的に増加していますが、取り分け前期比（構成比）で多く増加したのは福祉、街作り、文化・観光スポーツ指導等の分野でした。コロナ禍も一段落したことから、屋外での活動が増えたのが一因です。
- ・子育て支援、自治会活動などの地域に関わる支援が減少傾向にあります。

【表-2】 活動分野別の活動時間・構成比

活動分野	具体的な活動項目例	13期活動時間	13期構成比	12期活動時間	12期構成比
① 子育て支援	保育園・小学校での学習支援。学童保育。地域教育協議会での工作指導	1,125	3.5%	1,290	5.2%
② 福祉	福祉施設での慰問活動。福祉施設のイベント開催支援活動。病院・福祉施設での傾聴ボランティア。高齢者・障害者の為の自助具製作。高齢者の生活相談。独居老人への給食配達。民生委員等。	7,237	22.3%	5,043	20.3%
③ 環境保全	公共施設の樹木の剪定・除草・清掃。河川清掃。里山保全。公共施設での花壇作り。琵琶湖岸のヨシ刈り。琵琶湖外来魚駆除。桜並木の保全。温暖化対策の啓発活動等。	6,942	21.4%	7,127	28.6%
④ 街作り	商店街役員。街活性化イベント開催の運営支援。観光施設の整備。史跡の保存等。	752	2.3%	418	1.7%
⑤ 地域安全	自衛消防隊員。防犯パトロール。夜回り。児童の登下校時の見守り。児童の登下校時の交通安全指導等。	1,652	5.1%	1,287	5.2%
⑥ 国際交流	国際交流協会役員。外国籍児童への生活支援。在留外国人への日本語指導等。	376	1.2%	6	0.0%
⑦ 伝統文化	神社・仏閣の護持運営員。伝統的祭り(大津祭り、宿場祭り等)の運営委支援。古文書、文化財の調査等。	1,164	3.6%	475	1.9%
⑧ 観光	観光ボランティアガイド。史跡巡りコース作り等。	1,825	5.6%	470	1.9%
⑨ スポーツ指導	百歳体操。各種スポーツの指導者等。	1,578	4.9%	983	4.0%
⑩ サポートの会	サポートの会の会議、調査、園芸クラブ作業、選択講座の助手活動、サポートの会ボランティアの日参加等。	3,347	10.3%	2,462	9.9%
⑪ 自治会活動	自治会役員。自治会主催の各種活動(住民交流会、防災、環境整備、人権教育等)等	2,490	7.7%	3,426	13.8%
⑫ その他	図書館司書ボランティア。各種学芸の指導者。パソコン指導。囲碁、将棋の指導。図書館、美術館の企画・運営。日本舞踏の指導。写経・書道の指導等。	3,982	12.3%	1,892	7.6%
合 計		32,469	100%	24,878	100%

《グラフ2》 活動分野別 活動時間



(3) 学科別集計 【表-3】 《グラフ3》

- ・園芸学科は例年通り環境関連活動の比率が多くなっています。大学で学んだ知識・経験を生かした活動などに多くの時間を充てておられます。
- ・陶芸学科は陶芸で学んだ技術を活かし、在学生への陶芸サポート、個人の特技を生かしての活動など幅広く活動に参加されています。
- ・地域文化学科は、文化活動や福祉関連の活動、さらに自治会活動への積極的な取り組みなど広く地域の活動に貢献されています。
- ・健康づくり学科は民生委員・高齢者支援や児童福祉などの福祉活動に多く携わっておられます。
- ・びわこ環境学科は福祉・環境・文化活動など地域の環境を考えた活動をされています。
- ・各学科とも、大学で学んだ事や個人のスキルを活かして多方面へ活動を広げておられます。

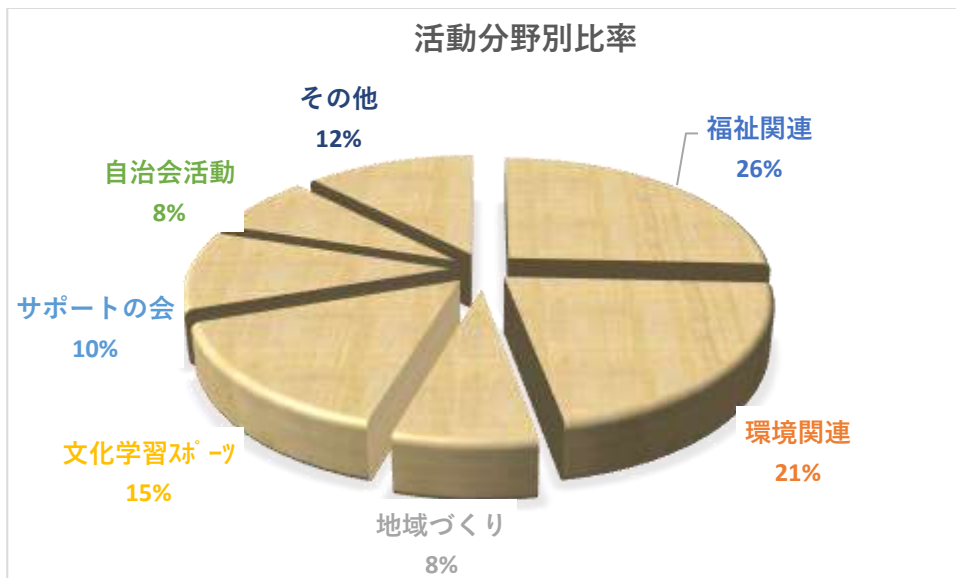
【表-3】 学科別活動時間 集計/比率

単位：時間

	園芸A	比率 %	園芸B	比率 %	陶芸	比率 %	地域文化	比率 %	健康づくり	比率 %	びわこ環境	比率 %	合計	比率 %	活動分野集約括り
福祉関連	965	22	1,498	27	738	14	2,216	34	1,825	37	1,121	20	8,362	25.8	①②
環境関連	1,830	41	2,262	40	868	16	281	4	232	5	1,470	26	6,942	21.4	③
地域づくり	445	10	396	7	342	6	201	3	571	12	449	8	2,404	7.4	④⑤
文化学習スポーツ	207	5	166	3	424	8	1,827	28	1,338	27	981	18	4,943	15.2	⑥⑦⑧⑨
サポートの会	435	10	799	14	1,156	21	495	8	118	2	344	6	3,347	10.3	⑩
自治会活動	376	8	414	7	521	10	756	12	87	2	336	6	2,490	7.7	⑪
その他	204	5	80	1	1,359	25	720	11	750	15	870	16	3,982	12.3	⑫
合計	4,461	100	5,615	100	5,408	100	6,496	100	4,920	100	5,571	100	32,469	100	

網掛け：各学科の活動比率が高いもの

《グラフ3》 活動分野別 活動時間比率



活動分野集約(12→7)

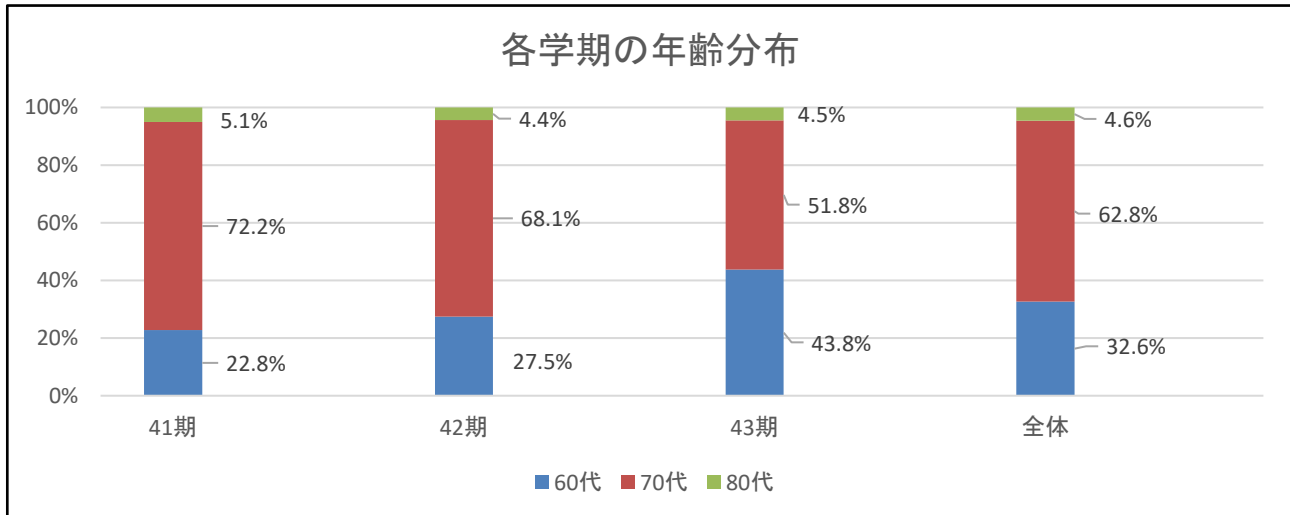
関連7分野	詳細12分野
・福祉関連	①子育て支援 ②福祉
・環境関連	③環境保全
・地域づくり	④街作り ⑤地域安全
・文化学習スポーツ	⑥国際交流 ⑦伝統文化 ⑧観光 ⑨スポーツ指導
・サポートの会	⑩サポートの会
・自治会活動	⑪自治会活動
・その他	⑫その他

(4) アンケート実施の学期別年齢分布状況

アンケートを記入して頂いた卒業生(41期~43期)の年齢層をグラフ化しました。

☆社会的に高齢化が進む中で、レイカディア大学の卒業生も同様に70代が5割~7割を占めており、社会貢献活動への高い意欲を持った元気なシニアのボランティア活動の比重が高くなる。

《グラフ4》 各学期（41期～43期）の年齢分布



(5) サポートの会活動について

サポートの会はレイカディア大学の卒業生で構成されている組織です。大学の存在をより多くの県民に知ってもらうPR活動や大学事務局・在学生との交流サポートを中心に、学生募集活動の支援・在学生対象のパソコン教室や各種講習会等を開催しています。また、広報冊子を作成し、社会の皆様への情報提供もしています。

年に一度、レイカディアの日を設定して、『びわこ地球市民の森』で竹林・樹木の間伐を行いました。

今期は、在学生・卒業生の多数参加（約150名）がありました。また、活動後は「モリックゲーム」で皆様との交流を図りました。

今後ともレイカディア大学および在学生へのサポート活動を軸に、地域への貢献活動を行っていきたいと思います。

4. おわりに

上記のアンケート調査の報告には含めていませんが、在学生を含めた各種の同好会活動（城郭探訪、フォトウォーク、グランドゴルフ、書道、詩吟、囲碁等々）が実施されていて、卒業後も在籍時と同様に在学生・卒業生間のつながりが途絶えることはありません。これらの結びつきがそれぞれの地域で実施されている地域ボランティア活動の継続や拡大に大きく貢献しているものと思われます。

コロナ感染症の5類移行に伴い、社会全体の行動も活発になってきています。卒業生の皆さんも感染対策を行いながら地域貢献活動を継続されています。まだ活動時間はコロナ前の値まで戻っていないとは言え大幅に回復しているのが、本調査の結果から解ります。

改めて、この調査が皆様のレイカディア大学に対するご理解を深め、さらに卒業生および在学生の地域貢献活動への意欲がますます強まるきっかけになるよう祈念します。

最後に本アンケート調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

以上